
中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

2010年3月8日号

©2010年1月における中国の油糧・食油市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2010年1月における油糧・食油市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

1 国内植物油原料価格と食用植物油価格は穏やかに推移

2010年1月の湖北地区菜種工場買入価格は、トン当たり4,085元、前月比1.3%高、山東地区二級落花生仁卸売価格は同7,776元、同1.6%安、山東地区四級大豆油生産者価格は同7,587元、同3.0%安、天津港パーム油（融点24℃）港到着価格は同6,660元、同3.3%高、湖北四級菜種油生産者価格は同8497元、同0.1%高、山東地区四級落花生油価格は同15,460元、同0.3%安となった。

2 国際植物油原料、食用植物油価格はわずかに下落

2010年1月のカナダ産油菜籽のCNF価格（FOB価格＋運賃）は1トン当たり462ドル、前月比0.8%安、前年同月比11.9%高となった。南米の大豆油のCNF価格（FOB価格＋運賃）は、同906元、同0.4%安、同18.7%高、マレーシア産パーム油（融点24℃）FOB価格は、同798ドル、同2.7%高、同29.5%高となった。

3 輸入油菜籽価格は再び国内価格を下回り、輸入大豆油価格は依然として国内価格を下回る

2010年1月は、国内油菜籽価格はわずかに上昇し、国際価格は下落したため、再び国内価格が下回った。カナダ産油菜籽の通関渡し価格（C I F + 関税等）は、1トン当たり約4,000元と国内油菜籽工場買入価格に比べ同85元安となった。米国メキシコ湾における大豆油のF O B価格は同767ドル、元換算で同5,236元と、国内消費地区大豆油価格に比べ同2,351元安となり、輸入大豆油の通関渡し価格（山東省）は同7,510元と、当地の国産大豆油工場出荷価格に比べ同77元安であった。

4 2009年の食用油籽、食用植物油輸入量は過去最高を記録

海関統計によると、2009年12月の食用油籽輸入量は、前月比59.2%増の514.3万トン、食用植物油輸入量は、同10.0%増の85.5万トンとなった。

2009年の累計食用油籽輸入量は、前年比18.8%増の4,633.1万トンとなり、初めて4000万トンを上回った。食用植物油輸入量は、同16.3%増の950.2万トンとなり、過去最高となった。そのうち油菜籽が同1.5倍増の329万トン、パーム油が同21.9%増の644万トンであった。

5 2009/10年度の世界植物油原料生産量は増加、ひっ迫する需給は緩和されると予測

F A Oの12月の予測によれば、2009/10年度の世界植物油原料の予測生産量は前年度比8.2%増（3340万トン増）の4.405億トンに達するとしている。そのうち、大豆の生産量は前年度比17.3%増の2.48億トン、油菜籽は前年並みの5830万トンと予測されている。